

(様式1)

令和3年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)
富山県21世紀の森 森林政策課

2 施設所在地
富山市八尾町杉ヶ平

3 施設設置年度
昭和58 年度

4 設置目的
優れた自然の風景地において青少年に森林とのふれあいの場を確保し、もって青少年の心身の健全な発達に資するため、富山県21世紀の森を設置する。

5 施設概要

- 1 森林学習展示館（鉄筋コンクリート2階建て：敷地面積478㎡）
 - ・展示室178㎡ ・事務室25㎡ ・会議室61㎡ ・器具倉庫38㎡
 - ・便所等29㎡
- 2 屋外施設
 - ・山菜の森等森林 5.7ha
 - ・遊歩道 5,172m

6 指定管理者
特定非営利活動法人 大長谷村づくり協議会

7 指定期間
5 年
平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日

8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

(1) 利用者数（人）

H29	H30	R1	R2	R3
11,350	8,669	8,439	2,021	2,306

(2) 利用（使用）料金収入（千円）

H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—

【参考】 利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

H29	H30	R1	R2	R3
—	—	—	—	—

9 評価項目

(1) 利用者数・収入の増減に対する評価

白木峰へ至る林道大谷線が令和元年6月に2年ぶりに全線復旧したが、令和元年10月の台風で再度被災し通行止めになった影響で、登山客等のが減少し、当該施設利用者減につながった。また、令和3年度企画事業を9回予定していたが、新型コロナウイルス感染症や台風等の荒天により7回中止になったことも利用者減の一因である。

令和4年度も白木峰登山に関連した利用者が見込めないため、自主事業を充実させるなど利用促進の取り組みに努めてもらいたい。

(2) サービス向上に向けた取組み

- ・自主事業として山菜・白木峰・きのこツアーなどを開催し、施設の魅力向上に努めた。
- ・利用者の要望に応じ、随時、現地ガイドを実施するなど利用者へ魅力向上に努めた。

(3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・旅行者、近隣施設及び地域と連携した行事の実施。
- ・SNSで情報発信を実施。

(4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

① アンケート結果

実施方法	実施時期：開館・イベント開催時
回答者数	33人
結果	良かった48% 普通52% 等
結果を踏まえた改善事項	特になし

② その他利用者の声を反映させる取組み

関係機関（県・市）との意見交換会や地元商工会、青年団、施設の支援者組織からの意見を参考にしている。

③ 主な苦情と対応

- ① 遊歩道散策マップがあれば良い⇒R4作成・施設に設置予定
- ② Wifi環境がほしい⇒R3設置済

(5) 個人情報保護の取組み

個人情報の保護に関し、従事者に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

富山市が設置している周辺の施設（大長谷温泉、長期滞在型市民農園）から当該施設へ立ち寄れるように連携が図られている。

(7) 施設・設備の維持管理

自主点検の実施や除草、除雪を実施するなど、適切に管理されている。大雨・強風の後やイベント実施前は、巡回点検を実施し、施設の安全利用のための管理がなされている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・刈払い機及びチェーンソーの使用にあたり、安全講習会の実施。
- ・利用者に対しクマやスズメバチ、マムシや有毒植物等への対策を指導。
- ・遊歩道の点検および整備の実施。

10 所管課の管理運営確認状況

	有/無	回数(有の場合)
①定期報告の受理	有	8
②維持管理・運営状況等の担当職員現地確認	有	10
③個人情報に関するトラブルの有無	無	—
④危機管理・安全管理上のトラブルの有無	無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

なし

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

- ・利用促進に向け、現在の管理水準を維持するとともに、周辺施設や関係団体との連携を図り、利用者のニーズを把握し、自主事業に反映いただきたい。
- ・遊歩道案内看板の劣化が激しいため、県と連携を図りながら修繕を検討していただきたい。
- ・職員全員が良いガイドとなれるよう、知識向上を図られたい。
- ・広報活動に積極的に取り組み、イベント等の普及啓発に努めていただきたい。